

乗り物趣味を震災復興に生かそうと、バス愛好者で作る日本バス友の会(高島俊和会長、会員八百人)は「乗って応援、被災地のバスに乗ろう」キャンペーンを行っている。

バス乗って 復興支援

友の会によると、被災地ではバス会社も大きな打撃を受け、五十両以上の車両が水没したり津波で流されたりしたほか、数力所のターミナルが全壊した。

会ではこの五月、趣味

高島会長は「もともと地方のバス路線は経営状態が悪い。乗れば確実に事業者の収入になるし、運転手のやる気にもつながると思う、みんなで乗るキャンペーンを始め」と話す。

は、黙々と被災地を走る

「友の会」企画 抽選で記念品

バスが、鉄道ほど注目を集めていないのが残念な点だ。「乗るバス会社や路線は自由。誰でもきるので大勢の人に参加してほしい」としている。

バスが、鉄道ほど注目を集めていないのが残念な点だ。「乗るバス会社や路線は自由。誰でもきるので大勢の人に参加してほしい」としている。

所定の乗車記録表に記入へ。

3394・7164



会員の自家用バスも被災地で無料輸送に活躍した。宮城県気仙沼市で(村岡真一さん提供)